

富名腰さんの
うらそえ
おすすめスポット
セコンドカーサ
【Secondo Casa】

自然農・無農薬栽培の野菜を取り入れ、厳選されたイタリア産のハムやチーズ、塩、オリーブオイルを使用するなど、“安心・安全”を目指し、食材からこだわっています。自慢の石窯焼きピZZアをはじめ、オーナーが腕を振ったさまざまな料理を楽しめます。



調理が見えるカウンター席 モツアレチーズがたまらない定番のマルゲリータも絶品 こだわりの生地は石窯で焼き上げます

特にコシ!



わたり蟹のクリームソース
リングイネ 1,400円

パスタセットランチが1,000円になるお得なクーポンはこちら!



店舗情報 ※テイクアウト可

- 住所/浦添市港川2-13-7-41
- 電話/☎(914) 3334
- 定休日/不定休 ※詳細はホームページ参照
- 営業時間/【昼】午前11時30分~午後3時
【夜】午後6時~午後10時
※ラストオーダーはどちらも1時間前

公式サイト
https://secondocasa-okinawa.com/



“うらそえWORKER” 募集しています!

あなたの周りのうらそえWORKERを募集中です。自薦・他薦は問いません。メールまたはハガキに氏名、年齢、職場名、連絡先、PRポイントを記入の上、国際交流課広報広聴係までお送りください。

【送付先】
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
E-mail:kouhou@city.urasoe.lg.jp

▼応募フォーム



1 思いを込めて選びます 2 ヨーロピアンスタイルのブーケ 3 カフェを彩った出張フラワーデコレーション

お花の定期便について
詳しくはこちら▶



仕事もプライベートも含めた、人生楽しむ秘訣!

富名腰さんに 3つの質問

Q1 趣味は?

A 趣味は旅行です。歴史ある建造物や絵画を見ることが好きで、ヨーロッパやアジアなどによく行ってました。お花を作るときはその場の全体の雰囲気を感じることも大切だと思っているので、いろいろな場所に行き、いろいろなものを見るようにしています。



▲ジベルニーのモネの家

Q2 休みの過ごし方やリラックス方法は?

A 休日は穏やかに過ごすことが多く、森やビーチでのんびりと散歩したり、自然の中で持参したごはんを食べたりしています。

Q3 好きな言葉は?

A 「やればできる!」
自分で可能性を狭めないように、できるかわからないけど、まずはやってみようという気持ちでやり続けてきました。人によっては反対されてしまうこともあったかもしれないけど、やってみたら?と常に応援してくれていた親にもとても感謝しています。



フラワーアトリエ Christine-MÜNCHEN

ふ な こ し み な
富名腰 海奈さん

暮らしの中でお花を身近な存在に
花の香りに癒される豊かな時間を届けたい

仕事内容を教えてください。

店舗のないフラワーアトリエで、主に自宅や店舗、病院などへ定期的にお花を届ける「花の定期便」を行っています。お花はお任せの注文がほとんどで、季節ごとに旬なお花を選んでお届けしています。お花の楽しみ方も提供したいので、お花の名前や豆知識を書いたカードも添えています。その他に、生花・造花アブリザーブドフラワーを使ったフラワーアレンジ、会場装飾などの出張フラワーデコレーションなど、お花に関すること全般を承っています。

新鮮なお花を長くお楽しみいただけるよう、すべて事前予約制で注文後に仕入れを行っており、目的や予算に合わせてオーダーメイドで心を込めて作っています。

この仕事に就いたきっかけは?

もともと薬剤師をしていて、趣味でお花を始めましたが「ヨーロッパのスタイルをちゃんと身に付けたい」と思い、旅行で興味を持っていたドイツに修行に行きました。最初はドイツ語も話せず、一度も花屋で働いた経験もありませんでしたが、縁があつてミュンヘンのクリスティンさんという方のお店で働きながらお花の勉強をさせてもらいました。彼女に出

会えたから今の自分があると思える程感謝しており、彼女の名前からお店の名前を決めました。

ヨーロッパではお花がとても身近な存在で、おうちにも自然とお花が飾られていて、男性でも「キッチンにお花を置きたい」と気軽に買いに来ます。家の中にお花がちよつとあるだけで心が満たされる、普段の生活がちよつとより良いものになると強く感じ、お花の定期便を届けたいと思ったのがきっかけです。

仕事のやりがいとは?

お客さんにお花を渡したときに「ありがとう」とか「わあ」と言ってくれて笑顔になってくれることが一番嬉しいです。一つ一つのオーダーがとても嬉しくて、感謝の気持ちを込めて丁寧に仕事をするように心がけています。以前、県外にいる息子さんから「仕事が忙しくてなかなか沖縄に帰れないので、お花好きなお母さんにお花を贈りたい」と定期便の依頼があった時は、私も温かい気持ちになって涙が出そうになりました。こういった気持ちを自分のお花とともに届けられることがありがたくて、贈る側の気持ちや贈られる側の人物像、お互いの関係性などを大切にしながら毎回心を込めて作っています。